jsub (Open OnDemand)

新規ジョブの投入

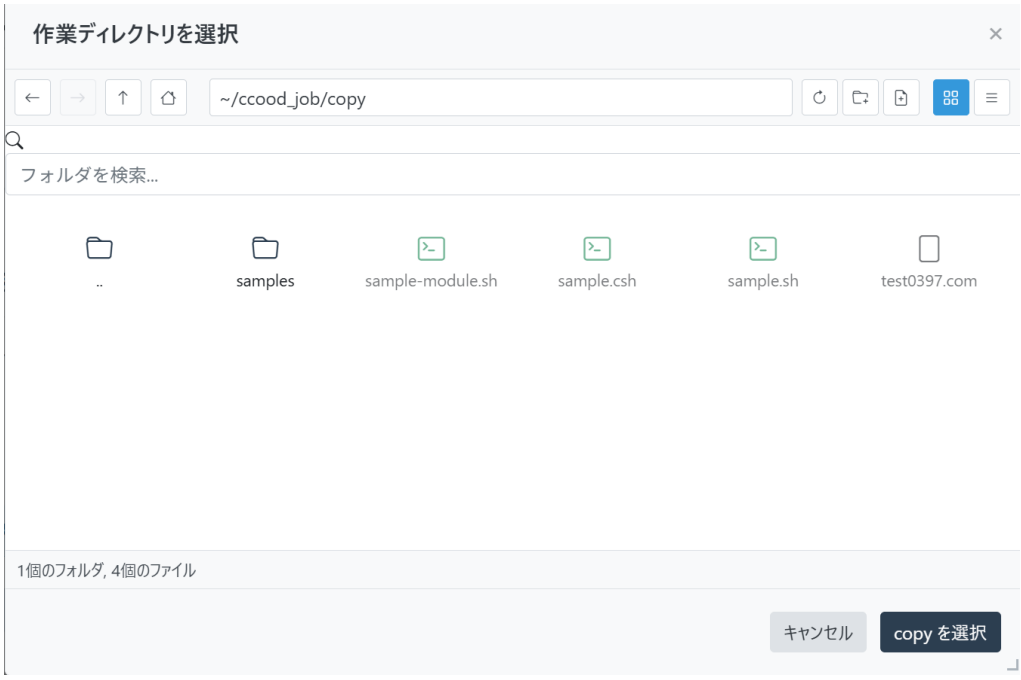
新規ジョブ投入は以下の3つのステップで行います：

1. **データ準備**: 作業ディレクトリの設定、入力ファイルの準備
2. **スクリプト・リソース設定**: 実行スクリプトの選択・編集、計算リソースの設定
3. **投入確認**: 設定内容の確認とジョブ投入

各ステップは画面上部のタブで切り替えることができます。

データ準備

作業ディレクトリの設定



- 「作業ディレクトリ」欄に直接パスを入力するか、「参照」ボタンをクリックしてディレクトリを選択します
- 新しいディレクトリを作成する場合は、 ボタンをクリックして名前を入力し、「作成」ボタンを押します

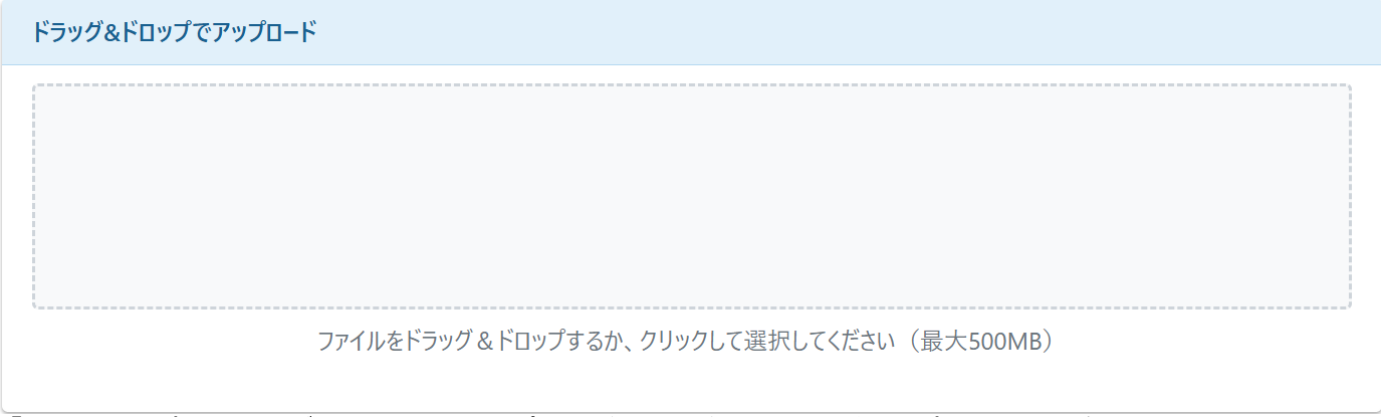
ディスクリソースの確認

「ディスクリソース」パネルでは、利用可能なディスク容量と使用量を確認できます。「更新」ボタンをクリックすると最新情報に更新されます。

ファイル一覧の確認

「ファイル一覧」タブでは、作業ディレクトリ内のファイルとフォルダを確認できます。「一覧を更新」ボタンをクリックすると内容が更新されます。

ファイルのアップロード

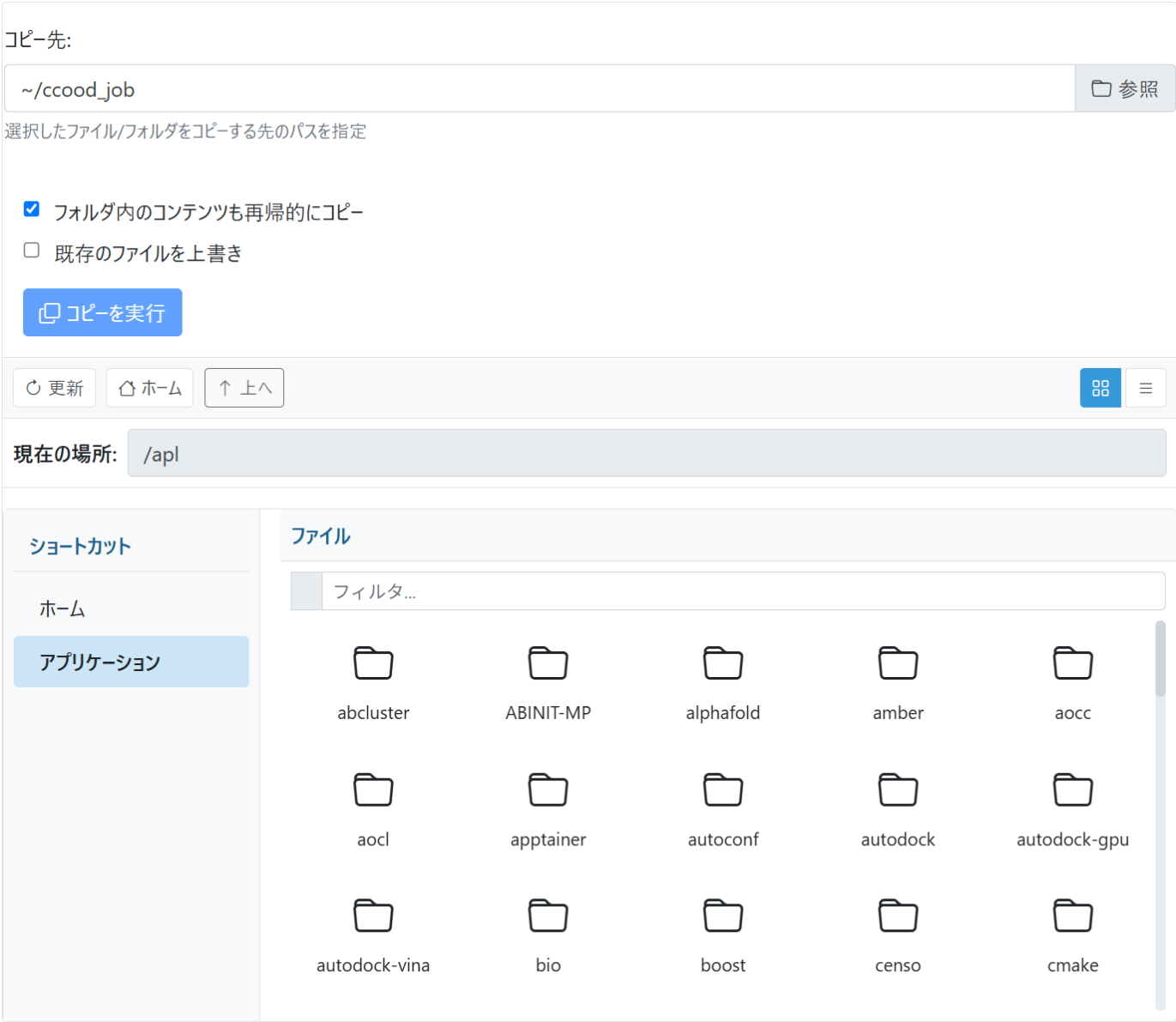


「ファイルアップロード」タブでは、ローカルコンピュータからサーバーにファイルをアップロードできます。

1. 破線で囲まれた領域にファイルをドラッグ＆ドロップするか、クリックしてファイルを選択します
2. アップロードが完了すると、自動的にファイル一覧に追加されます

ファイルのコピー

「ファイルコピー」タブでは、サーバー上の別の場所からファイルをコピーできます。



1. 左側のパネルをクリックしたり、フォルダをダブルクリックしてコピー元のディレクトリに移動します
2. コピーしたいファイルやフォルダを選択します
3. 「コピー先」に宛先パスを入力するか、「参照」ボタンで選択します
4. 必要に応じてオプション（再帰的コピー、上書き）を選択します
5. 「コピーを実行」ボタンをクリックします

スクリプト・リソース設定

実行スクリプトの選択・編集

1. 「実行スクリプト」欄に直接パスを入力するか、「参照」ボタンをクリックしてスクリプトファイルを選択します
2. 新しいスクリプトを作成する場合は、「新規」ボタンをクリックします

■ スクリプトエディタの使用

1. 「エディタで編集」ボタンをクリックしてスクリプトエディタを開きます
2. スクリプトを編集し、「保存」ボタンをクリックして変更を保存します
3. 「更新」ボタンをクリックするとスクリプト内容が再読み込みされます

計算リソースの設定

スクリプトのリソース設定を右フォームで行えます：

- **ジョブタイプ**: 標準計算、GPU計算、大容量メモリから選択
- **ノード数**: 使用するノード数
- **CPUコア数**: 使用するCPUコア数（または「コアプリセット」ボタンから選択）
- **GPU数**: GPU計算の場合、使用するGPU数
- **最大実行時間**: ジョブの最大実行時間（時間:分:秒）
- **MPI並列数**: MPI並列プロセス数
- **OpenMP並列数**: OpenMP並列スレッド数

■ 追加オプション

「オプション」パネルを展開すると、以下の設定が可能です：

- **標準出力・エラー出力をマージ**: 出力ファイルを一つにまとめる設定
- **再実行なし**: システム障害時などにジョブを再実行しない設定

■ スクリプトとの連携

- **スクリプトから設定を読み込む**: スクリプト内のPBSディレクティブから設定を自動読み込み
- **スクリプトに設定を適用**: 現在の設定をスクリプトに反映

投入確認と実行

オプション

■ ジョブ名の設定

「ジョブ名」欄にジョブの識別名を入力します。空欄の場合はスクリプト名が使用されます。

■ メール通知設定

1. 「メール通知を使用」にチェックを入れます
2. 通知先のメールアドレスを入力します (デフォルトはRCCSに登録されているアドレス)
3. 通知タイミング（開始時、終了時、異常終了時）を選択します

設定内容の確認

「投入確認」タブでは、これまでに設定した内容が表示されます。

確認項目：

- データと作業環境（作業ディレクトリ、実行スクリプト、ジョブ名）
- リソース設定（ジョブタイプ、ノード数、CPUコア数、GPU数、実行時間など）
- 通知設定（出力マージ、メール通知）

ジョブの投入

1. 設定内容を確認します
2. 問題がなければ「ジョブを投入」ボタンをクリックします
3. 投入成功時には確認メッセージが表示され、ジョブIDが発行されます
4. 「ジョブ一覧」画面に自動的に移動し、投入したジョブが表示されます